

## 第6学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう  
教材名 平和のとりでを築く(大牟田 稔)  
自分の考えを発信しよう

### 2 単元について

#### (1) 教材について

「平和のとりでを築く」では、これまでの説明文の読み取りの総まとめとして、文章の内容を正確に押さえながら筆者の考えをとらえて、自分なりの考えをもつことを学習の基本にすえている。また本教材においては、「原爆ドーム」が世界遺産となった意味について筆者の考えを丁寧に読み取らせたい。そして、「平和」について自分にも関わりのある問題として考えさせたい。

「自分の考えを発信しよう」では、自分の考えに説得力をもたせるために必要な材料を集めるとともに、説明文の学習を生かして自分の意見が伝わるように組み立てを考えた書くことをねらいとする。

上記のことから、第6学年で求められる「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしよう」とに気づかせ、とする態度を育てる」とことと「目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」ことができるようになることを考える。

#### (2) 児童について

- ・説明文を読み取るための学習の進め方が身についている。
- ・形式段落など、短い文章の要点を正しくつかめるようになってきている。
- ・筆者の伝えたいことを正しくつかみ、自分なりの考えをもちながら読むまでには至っていない。
- ・ニュースで見聞きした戦争について話題になることもあるが、戦争を体験した人たちの思いや平和の大切さについて考えるまでには至っていない。
- ・自分の考えを分かりやすく表現するために効果的な文章の組み立てを考えて書くことはまだ十分にできていない。

#### (3) 指導の構想

##### 【読むこと】

確かな読みの力を育てるために、文章の内容を正確に押さえながら筆者が伝えようをとらえ、それについて自分なりの考えをもつ力を育てる。

事前に学習内容を知らせ、戦争や平和に関するニュースや本に目を通すようにさせ、学習への関心を高めておく。

つかむ段階で平和について自分の考えを発信するという学習の目的を確認するとともに、説明文の学習を振り返り、学習の見通しをもたせる。

ふかめる段階で1時間毎に自分なりの考えを書くことによって、自分の考えをもちながら読む意識を高める。また、筆者の意図に沿った考えをもてるようにさせたい。

単位時間のまとめの段階で、説明文の学習の仕方や自分の考えのもち方について自己評価したり相互評価したりすることにより、児童自身に力がついてきた実感や次の学習への意欲をもたせたい。

##### 【書くこと】

文章の組み立てを考えて、自分の考えを明確に書く力を育てる。

「平和のとりでを築く」の学習をもとに平和について話し合い、自分の考えをはっきりさせる。

自分の考えに説得力をもたせるためには、どんなことを調べたらいいか具体的に考えさせ、必要な材料を集められるよう支援する。

説明文の表現方法を振り返り、自分の意見が伝わるような組み立てを考えさせる。

### 3 単元目標

#### 【関心・意欲・態度】

筆者の考えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり書いたりしようとする。

#### 【読むこと】

内容を正確に押さえながら筆者の考えをつかみ、自分なりの考えをもちながら読むことができる。

#### 【書くこと】

調べたり話し合ったりし、深まった考えを分かりやすく組み立てて書くことができる。

・自分の考えを明確に表現するための効果的な文章の組み立てを考える。

・事実と意見を区別して書く。

#### 4 指導計画（14時間扱い）

過程	時	学 習 内 容	指導の手立て	評価規準
つ	1	1 戦争や平和に関して知っていることや思っていることを発表する。 2 学習の見通しをもつ。 (1) 全文を読む。 (2) 学習内容を確認する。	・ 事前に学習内容を知らせ、戦争や平和に関するニュースや本に目を通すようにさせ、学習への関心を高める。 ・ 単元名・リード文・題名を手がかりに学習の目的を確認し、学習の見通しをもたせる。 ・ 説明文の学習を振り返る。	【関】 戦争や平和に関して知っていることを進んで発表している。
ふ	2	2 「平和のとりでを築く」を読んで、大まかな内容をつかむ。 (1) 題名と段落から読みの課題をつかみ全文を読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">原爆ドームは、ユネスコの世界遺産への仲間入りを果たすまでにどのような年月をたどってきたのだろう。 『平和のとりでを築く』で原爆ドームについて述べることによって筆者は何を伝えたいのだろう。</div> (2) 内容について自分なりの考えを書く。	・ 書かれている内容について、題名に着目して話し合う。 ・ 難語句や歴史的背景について確認しながら読む。  ・ 自分なりの考えを書くことによって、内容や筆者の考えのとらえについて児童の実態を把握する。	【読】 文章の内容を大まかにつかみ、初発の感想を書いたり、発表したりする。
め	3	3 全文を読み、課題に対する読みをまとめる。 (1) 段落構成を考える。 ・ 全文を読み、意味段落に分ける。	・ 段落構成を考えたり、各文章の主述を確かめたりし、事実を正しくとらえるための手がかりとする。 ・ 「中」の段落は、大きく2つに分けることを前提として、自分なりの根拠を明らかにして段落構成を考えさせる。	【読】 自分なりの根拠をもって意味段落に分けて、段落構成をつかんでいる。
る	4	・ 筆者の思い ～ 原爆ドームの歴史 ～ 世界遺産への道のり まとめ (2) 「原爆ドームの歴史」を詳しく読み取る。 ・ 段落を読む。	・ 説明文を読むときのポイントを振り返りながら読み取る。	【読】 「産業奨励館」と呼ばれていた頃のことについて読み取り、自分の考えをもっている。
本時	5	・ ～ 段落を読む。 ・ 読んで考えたことを発表する。	・ 段落と比較し、戦争の悲惨さに気づかせる。 ・ 原爆ドームを保存する議論が続いたことや少女の日記について考えさせることで、筆者の考えに気づく手がかりとする。	【読】 「原爆ドーム」が保存されるまでの出来事を読み取り、自分の考えをもっている。

ふ か め る	6	<p>(3)「世界遺産への道」を詳しく読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ~ 段落を読む。</li> <li>・読んで考えたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規模が小さくても世界遺産として認められたことについての人々の思いについて考えさせることで、筆者の考えに気づく手がかりとする。</li> </ul>	<p>【読】 読み取り方が向上し、世界遺産となるまでを正確に読み取り、自分の考えをもっている。</p>
ま と め る	7	<p>(4)筆者の伝えたいことを読み取り、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落と段落のどちらに重点を置くか考える。</li> <li>・筆者の伝えたいことをまとめる。</li> <li>・読んで考えたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つ1つの叙述の意味するところを明らかにすることによって筆者の伝えたいことに迫る。</li> <li>・今までの学習も振り返り、一人一人の考えを話し合う中で筆者の伝えたいことに迫る。</li> <li>・自分の読みを振り返ることで、読みの深まりを実感させたい。</li> </ul>	<p>【読】 1つ1つの叙述の意味するところをつかみながら筆者の伝えたいことを正確に読み取り、自分の考えをもっている。</p>
ひ ろ げ る	8	<p>4 自分の考えを発信する。</p> <p>(1)調べることを具体化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発信する目的と相手・課題や方法を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平和のとりでを築く」の学習や教科書P41の資料を参考に平和に関する問題意識を高める。</li> <li>・発信方法は、目的と相手に応じて工夫させる。</li> </ul>	<p>【関】 「平和のとりでを築く」で読み取ったことをもとに、平和についての課題をもっている。</p>
ひ ろ げ る	9 、 13	<p>(2)自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えに説得力をもたせるための材料を集める。</li> <li>・集めた材料をもとに、自分の考えをまとめて書く。</li> <li>・推敲する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用できそうな図書資料やインターネットのホームページ・テレビ番組などを把握しておき、児童の材料集めに役立てる。</li> <li>・まとめりごとに見出しを付け、そのつながりを考えさせることによって効果的な組み立てを考えさせる。</li> </ul>	<p>【書】 自分の課題に沿って、説得力をもたせるために必要な材料を集めている。</p> <p>【書】 集めた材料の中から、必要なものを選択し、自分の考えが伝わるように組み立てを考えている。</p>
ひ ろ げ る	14	<p>(3)自分の考えを発信する。</p> <p>5 本単元の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手からの意見や感想も得られるようにする。</li> <li>・説明文の読み取り方や内容のとりえ方に重点を置いて振り返えさせる。</li> </ul>	<p>【読】 説明文の読み取り方や内容のとりえ方について、学習した意味を見いだしている。</p>

5 本時の指導（5 / 14 時間）

（1）目標

原爆ドームが保存されるまでの出来事と人々の思いを読み取り，自分の考えをもつことができる。

（2）評価

【評価規準】

原爆ドームが保存されるまでの出来事と人々の思いを読み取り，自分の考えをもっている。

【具体の評価規準】

A：原爆ドームが保存されるまでの出来事と人々の思いを正確に読み取り，自分の考えを具体的に書いたり話したりしている。

B：原爆ドームが保存されるまでの出来事と人々の思いを読み取り，自分の考えを書いたり話したりしている。

C：教師の支援や友達の発表を手がかりにして，原爆ドームが保存されるまでの出来事や人々の思いを読み取り，自分なりの考えを話している。

（3）展開

機	学習内容と教師の働きかけ	指導上の留意点
つかむ	<p>1 学習課題を読んで確認する。</p> <p>「産業奨励館」が、「原爆ドーム」として保存されることになったのはなぜだろう。</p> <p>2 課題解決の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>～ 段落の「原爆ドーム」として保存されるまでの出来事をまとめ，自分の考えを書くためのポイントを確かめましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「原爆ドーム」として保存されるまでのことを書いているのは～段落だが，段落の「産業奨励館」と呼ばれていた頃のことについては前時に学習しておく。</li> <li>既習の要点のつかみ方を想起させるとともに，3・4時で確かめた主述に留意しながら，各段落をまとめさせる。</li> </ul>
ふかめる	<p>3 「原爆ドーム」として保存されるまでにどんな出来事があったのか読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>段落ごとに「原爆ドーム」として保存されるまでの出来事をノートにまとめましょう。</li> <li>「原爆ドーム」として保存されることになったのはなぜでしょう。</li> <li>自分の考えを書き，発表しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートにまとめる学習は一人学びとし，その後全体で正しいまとめとなっているか確かめる。</li> </ul> <p>評 ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「原爆ドーム」として保存されることになった理由を中心に感じたことや考えたことを書くようにさせる。</li> </ul> <p>評 ノート・発表</p>
まとめる	<p>5 本時の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主述に注目して，保存までの出来事をまとめることができた。</li> <li>既習の要点のつかみ方を生かしてして，各段落の要点に気づくことができた。</li> <li>原爆ドーム保存に関わる議論や少女の日記について自分の考えを話すことができた。</li> </ul> <p>6 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習について自己評価や相互評価することにより，内容を正しく読み，筆者の意図に沿った考えをもつ力を高めたい。</li> </ul> <p>評 発表</p>

# 平和のとりでを築く

大牟田 稔

「産業奨励館」が「原爆ドーム」として保存されることになったのはなぜだろう。

### 読みのポイント

- ・保存されるまでの出来事
- ・主語述語に気をつけて
- ・まとめて書いている文
- ・段落の最初か最後の文
- ・大事な言葉が入った文
- 原爆ドーム・この建物
- 保存

### 考えよう

- ・「原爆ドーム」だけが保存されることになったこと
- 対して

四、市民の多くは、一瞬のうちに生命をうばわれた。

五、この建物は、たちまち炎上し、中にいた人々は全員なくなつた

原爆ドームの  
写真

六、原爆ドームを保存するか、前後間もないころの広島では議論が続いた。

いつまでも、おそるべき原爆のこと

七、急性白血病でなくなつた少女の日記に後おしされて、市民も役所も「原爆ドーム保存」に立ち上がった。

八、原爆ドームは、補強工事がくり返され、今の形を保っている。